

日本共産党

磯城郡議員団だより

和也 エメール info@k-shiba.jp
 芝川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
 吉田容工 エメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
 森良子 エメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
 (事務局) 池田年夫 エメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

各党から続々改憲案この異常

9条改定 軍隊保持

自民党が27日に2度目となる改憲草案を発表したのをはじめ、みんなの党、たちあがれ日本、「一院制議連」など、改憲各派による改憲案具体化の動きが加速しています。衆参両院で改憲草案の審査権限を持つ憲法審査会が始動した中での動きとして重大です。

これまで条文案の形で改憲案をまとめていたのは自民党だけでした(2005年)。あとは政治家個人の試案でした。ここに来て各党が次々と改憲条文案とりまとめの動きを見せているのは、改憲草案の審査が可能な憲法審査会が始動したこと無縁ではありません。

特に、「一院制国会実現議員連盟(一院制議連) 会長・衛藤征士郎(衆院副議長)は27日、国会を一院制とする改憲草案を横路孝弘衆院議長に提出。正式に受理されるかどうかはこれからの協議次第ですが、改憲草案が国会に提出されるのは初めてです。

9条改定と軍隊の保持が各党の共通項となり、天皇元首化や日の丸・君が代の国旗・国歌化などの保守・復古、緊急事態法制導入の動きが強まりを見せています。また「決められない政治の打破」を口実に、「一院制廃止や首相公選制など統治機構「改革」が前面に出てきていることも特徴です。各党が改憲攻勢を強めるもう一つの背景には、3月10日に「大阪

各党の改憲案	その内容
一院制議連 改憲草案を国会提出 4月27日	定数500の一院制
自民党 日本国憲法改正草案 4月27日	国防軍の保持 緊急事態 天皇元首化
たちあがれ日本 自主憲法大綱案 4月25日	前文に「統治の目的は国民の幸福と天皇元首化 自衛軍の保持
みんなの党 憲法改正に関する「基本的考え方」 4月27日	統治機構の根本的改革(渡辺代表) 一院制 首相公選制 道州制 自衛権のあり方を明確化
大阪維新の会 維新政治塾レジュメ 3月10日	首相公選制 参院廃止 九条改定の国民投票実施

2012年4月29日(日)

原発ゼロ実現を 全国首長会議を設立

「脱原発をめざす首長会議」の設立総会が28日、都内で開かれました。同会議には69人の市町村・特別区の首長や首長経験者が加入。総会には福島第1原発事故で被災した福島県の桜井勝延南相馬市長を含む21人が出席し、多くの報道陣が詰めかけるなど、原発ゼロをめざす新たな動きとして注目されました。

総会では、大飯原発などの拙速な再稼働に反対する決議や今年夏策定予定の「新しいエネルギー基本計画」で原発ゼロを決定するよう政府に求める決議を採択しました。

日本共産党の志位和夫委員長らが顧問に就任しました。総会や直後の記者会見では、各首長らが同会議発足にかけた思いを発言しました。

京都府京丹後市の中山泰市長は、かつて原発立地を断った経緯に言及。福島第1原発事故の被害にふれて、「あの判断は間違っていないかった」と述べました。

桜井南相馬市長は、「原発、被災地の報道がだんだん薄れるなか、再稼働の状況が大きく取り上げられている現実に、地域住民は不安を抱え、棄民にされているのではとさえ思う現実がある」と述べ、再稼働を急ぐ政府を批判。東海第2原発を抱え、廃炉を求めている東海村(茨城)の村上達也村長は、人間がコントロール

維新の国会が「新政治の指す政治的べき」として発表し「維新政治塾・ジュメ」で「憲法改正」を掲げます。

東日本地震・12号台風への救援募金に「協力」を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】
0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。

磯城郡日本共産党議員団



また、飯田哲也環境エネルギー政策研究所長が「脱原発社会 地方自治体の可能性と役割」と題して講演。原発に反対する韓国の自治体首長から送られたビデオメッセージも放映されました。

会場には吉原毅理事長が脱原発を表明した城南信用金庫の本店が使われました。

総会は、呼びかけ人の三上元・湖西市長(静岡)、村上村長と桜井市長の3氏が世話人として選出。「新しい原発は作らない」ほか、「できるだけ早期に原発をゼロにする」「ことや福島への支援を行うなどの取り組みを盛り込んだ規約を採択しました。

「安全神話」復活許すな 志位氏あいさつ

顧問就任あいさつで志位氏は、「原発と人間社会は共存できないというのは多くの国民の気持ちになりつつあります。政府に原発からの撤退と原発ゼロの日本を目指す政治決断を強く求める決意です」と表明しました。

このなかで志位氏は、「『安全神話』が新しい形で復活しつつあるのは重大です」と述べ、「新安全基準」を決め、自治体に再稼働を迫る政府の姿勢を厳しく批判しました。

志位氏は、「電力需給のためには多少の危険に目をつむれ」という議論がでていますが、再稼働問題と電力需給問題は切り離して判断すべきであり、両てんびんにかけるようなやり方は、こと原発に関しては絶対にやってはなりません」と強調。党として地方議会で「原発ゼロ」を目指す首長の活動を支えていく考えを表明しました。

2012年4月29日(日)

三宅町

第1回臨時議会

三宅町第2回臨時議会が27日午後1時半から開会されました。

臨時議会の議案は専決処分報告の平成23年度一般会計第5回予算案、平成23年度国民健康保険特別会計第4回補正予算案、国民健康保険税率の一部改正案と正副議長の改選、常任委員会の変更をはじめ、議会運営会正副委員長の選任、山

議長	辰巳勝英	副議長	廣瀬規矩次
総務・建設 常任委員会	梅本勝久 池本久隆	川口靖夫 中尾正巳	廣瀬規矩次
福祉・文教 常任委員会	松田睦夫 渡辺哲久	馬場武信 辰巳勝英	植村ケイ子
議会運営委 員会	委員長 副委員長	馬場武信 植村ケイ子	全員で構成
山辺広域事 務組合	梅本勝久	廣瀬規矩次	
国保病院 式下中学校 組合	辰巳勝英 辰巳勝英 植村ケイ子	廣瀬規矩次 廣瀬規矩次 渡辺哲久	
監査委員	梅本勝久		

辺広域行政事務組合、式下中学校組合、国保病院議会議員の選出が行われました。

議長には辰巳勝英6票、池本久隆3票、副議長には廣瀬規矩次6票、中尾正巳3票で議長には辰巳勝英議員、副議長には廣瀬規矩次議員が選出されました。常任委員会などの構成は表のとおりです。

国民健康保険税率改正の概要は「地方税法関係法令の改正施行に伴い、東日本大震災に係る被災、居住用財産の敷地にかかる本町の特例。附則第4号にかかる長期譲渡所得にかかる国民健康保険税の課税を適用するための附則を適用するもの」としています。詳細については住民課・国民健康保険係りに問い合わせください。

三宅町 池田 年夫

元気と勇気

今日、首を長くして待っていた物が届きました。「さだまさし ステージトーク続 嘶歌集CD」十五枚のCDは一曲の歌もなく、コンサートでの話ばかりです。さだまさしが嫌いな方には申し訳ありませんがその中のほんの一部を紹介させていただきます。

「赤ん坊が生まれてきた時に握り締めてきたものについて最近、お話をしています。赤ん坊が握りしめてきたものは右手に元気、左手に勇気です。元気と勇気は同じ性質を持つています。使えば使った分、増えていく。使わなければ使われない分だけ減っていく。勇気もそうです。あの時にあれだけの勇気があったらと後悔したり、その小さな勇気

を手に入れるのに苦労したり、みんな経験しているはずです。よくあれだけの勇気が自分にあっただけの自信を持つことができたなら、あの時よりももっとと大きな勇気を、簡単に手に入れることができるのではないのでしょうか。」という話を聞いて私もこの二つを握りしめて生まれて来たんだ！使わない手はない！と信じる事にしました。元気な人の傍には行きたいけど、暗い愚痴っぽい人には近づきたくないですね。さあ、あなたも元気と勇気、どんどん使ってみませんか。

田原本町議会議員 森 良子



議会改革シンポジウム

「ゴールデンウィークが始まりましたね。まとまった休みはなかなかとれませんが、こうした機会集まりました。現在、川西町議会でのこの手の取り組みは、町HPへの議事録の掲載に留まっています。盛り上がりは今一つと言う所です。私としては、審議が濃密になるよう議員の質問回数増や時間延長、委員会審議の傍聴化、議会審議のネット配信等を提案し、議会の活性化に向け呼び掛けています。

今年のパターンですと九連休が最長になるのかなと思います。如何ですか。その連休前の二十七日（金曜）に、県議会主催で県内の地方議員を対象に

川西町議会議員 芝 和也



住民の足

本年度、デマンドタクシー「ももたろう号」の運行方法が少し改善されました。予約時間が「前日まで」から「3時間前まで」に短縮されました。また、国保中央病院・保健センターに停留場が設置されました。これまで寄せられていた「予約時間が早すぎると、国保中央病院へ行けるようにしてほしい」という要望に応えたいです。

先日の議会で、「月あたりの利用者二八〇人、一日あたりの利用者一五人」この実績をどのように見ているのか？と質問したところ、担当課長は「予想より多い」と応えましたが、この程度で満足してもらっては困ります。デマンドタクシーの試行運転は今年一年で終わります。「足の不自由な方の足をいかに確保するのか？」という積極的な観点から取組を見直すよう求めました。お母さんが子どもを自転車に乗せて保健センターへ行く事が大変になっっています。

年配の方々と、明日を担う子ども達のための姿勢が求められています。田原本町議会議員 吉田 容工

